

活躍期待し「設備女子会」

新年度設立へ発起人会初会合

建築設備技術者
協会 道支部

建築設備技術者協会北海道支部は3月30日、ホテル札幌カトーデンパレスで、仮称・設備女子会の設立に向けた発起人会を開いた。建築設備業で働く女性を対象に2016年度の立ち上げを計画。今後、勉強会や講演会などの具体的な活動内容を決め、取り組みに賛同する会員も求めていく。



母体の建築設備技術者協会は、建築設備業界で働く女性同士の親睦、女性に魅力ある環境づくり、社会的評価の向上などを目的に、13年に設備女子会を立ち上げ、建築設備6団体と協力しながら積極的に事業展開している。

東京の本部だけでなく、全国8支部で徐々設立準備に向けた発起人会

設備女子会の設立が進んでいるため、北海道支部も地域特有の諸事情を考慮し組織化することにした。

各職場で女性の活躍が求められている中で、会員相互による交流を広げながら、女性独自の悩みなどの解消を図る。発起人を通じて会員登録してもらい、講演会、見学会、勉強会などを立案し、実施する予定だ。

設立準備に向けて開いた発起人会には、里中雅幸支部長をはじめ、高木晃理事、事務局を務める大島克博氏のほか、設備施工会社や設備設計事務所などに勤務する7人の女性従業員が出席した。

道支部は「若者不足は各業界共通の悩み。女性に対する期待は大きい」「より多くの参加を促すために親睦から始めて、まずは率直に意見を言い合える場にしてはどうか」などと助言。具体的な活動や発起人の指名は次回の会合に委ねたが、女性陣からは「講演では結婚や出産、子育て経験がある人(設備女子)の話が聞きたい」などの声があがっていた。